

第21回 グラスホパー 開催のご案内

「夢はウインブルドンへ」実行委員会

令和7年3月1日

ご挨拶

100年後のこども達へ繋げるウインブルドンへの夢



「大阪なおみ選手や錦織選手の活躍で、こどもたちがテニスを目にして体験することも多くなりました。衛星放送やニュースなどで有名選手たちの活躍を観戦することもでき、ジュニアの国際大会も少しずつ日本各地で開催されるようになり、民間のテニスアカデミーも海外への遠征も企画しています。しかし日本のこどもたちは目の前の課題に精いっぱい、「夢」や「世界」をイメージすることは非常に難しいのが現状です。

大人たちでさえ、世界へ繋がる道や、頂点のイメージを、こどもたちに見せることは難しいのではないのでしょうか。

世界中のテニスプレイヤーの憧れはウインブルドン。

それは、きっと100年後でも変わることはありません。

「夢はウインブルドンへ」実行委員会は、20年前にその理念に賛同したテニス関係者だけでなく、ウインブルドンへ続く道を夢見る、多くの人々に支えられて活動を続けてきました。

1877年 ウインブルドン選手権が創設されてから約150年の歳月のあいだ、世界中のテニス選手が目指す最高峰の聖地とされる場所が

WIMBLEDON 天然芝のコートでのプレーは、テニス競技で必要となるすべての能力が試される場所と言われております。

天然芝コートでのプレーを早い時期に経験することは、後に大きなアドバンテージになります。

特にジュニア選手たちにとっては、目先の勝ち負けのための技術だけではなく、

テニスを通した歴史や文化を感じるからこそ大きな成長へと繋がることをこれまでの参加者たちが証明してくれております。

未来のウインブルドンへ通じる夢への道を目指して、是非、ご応募ください。

プログラム概要①

●オンコートプログラム

テニスの原点でもあり、誰もが目指す聖地WIMBLEDONと同じサーフェスの天然芝コート上で、多くの試ドリル練習やマッチ練習を中心に様々なことを学びます。

またオンコートだけではなく『これから上達するために本当に必要となる能力とはなにか？』

この競技の歴史 文化的な空間に触れ生涯必要となる天然芝コートに隠された宝物を見つけ出すことがテーマです。

①ドリル練習

”バランス”と”重心”をポイントに全国から集まったコーチ達が目的意識を共有し指導しました。

バランスひとつに込められた意味も構えから始まり、フットワーク、テイクバック、インパクト、フィニッシュにそれぞれ留意するポイントがあり運動性が求められます。

対応力が最も必要なサーフェスであるグラスコートでドリル練習を行う事で潜在能力の向上を目指します。



②マッチ練習

ドリル練習で反復練習をしたポイントをゲームの中で応用する技術を学びます。

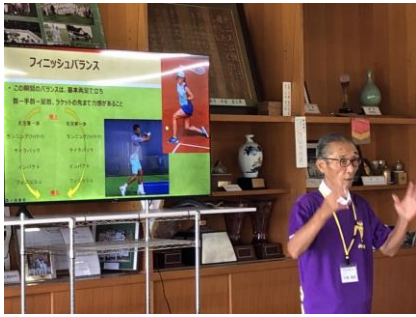
バウンド音もスリッ音も無い、打球音のみの世界の中で匂い、音、五感の刺激からのメッセージを強く受け取れる低年齢へ、自発的な戦略を引き出すように指導します。



プログラム概要②

●オフコートプログラム

世界で戦ってきたレジェンドコーチから栄養学、そしてジャーナリストやアーティストまで。コートから世界に飛び立つためのヒントを教えてください。



- ・小浦猛志 スーパーバイザー
【元フェドカップ監督 伊達公子選手のコーチ】

人間の身体の”軸”の概念や”絶対基本”やバイオメカニクス。長いテニスの歴史や場所が変わっても変わらないものを貴重な資料を紐解きながら解説します。
なぜ芝生の上で学ぶことが必要なのか？
世界のトップで長い間戦ってきた名伯楽の視点からの言葉です。



- ・植田実 日本テニス協会常務理事
【日本テニス協会常務理事／普及推進本部長】

テニスとはどのように世界で始まり、日本ではどのように伝わったか？テニスの歴史の中で転機となったトピックスなどを選手たちに解りやすく伝えます。歴史や技術とも深くつながっています。保護者やコーチの方々にも是非、聞いていただきたい内容です。



- ・フローラン・ダバディ
【スポーツジャーナリスト】

『視点を世界へ』のタイトルの元、スポーツジャーナリストとしてテニスだけでなく世界中のトップ選手を取材してきた体験を豊富なビジュアルと共に伝えます。テニスの中で発揮される『創造力や発想力とは？』スポーツへの情熱溢れるトークに子供たちも知らない間に引き込まれます。



- ・館崎 雅晴 トレーナー
【フィジカルトレーナー】

育ち盛りの選手たちに必要な食事や栄養、休息とは？ トレーナーと保護者、コーチの役割とは？ 追い込むだけのトレーニングでは怪我との長い付き合いになってしまいます。
コーチ、両親、トレーナー、選手がチームとして正しい身体の知識を身に着けスポーツを通して成長するための基礎を是非、保護者の方が持ち帰ってください。



- ・KASA
【テニスマンガBreak Back 作者】

フローラン・ダバディさんとの対話形式です。
青春時代に”勇気”だけを手に単身アルゼンチンまで渡ったテニス修行。テニスで世界で戦う事は諦めたものの、漫画の世界では日本随一のテニスマンガ家に。
テニスを通して挑戦し、勉強し、今なおテニスに惹かれ続けている体験をお聞きください。

◆第21 回グラスホパー 1日目 スケジュール(仮)

・9:30 選手受付開始

・10:00 開会式

コーチ紹介

神谷委員長挨拶

※諸注意



・8:15 ~ 小浦スーパーバイザーよりキャンプテーマ説明

・8:45 ~ 午前オンコートプログラム開始

・10:00 ~ 保護者へコート開放(グラスコート体験)

・12:00 ~ 午前オンコートプログラム終了
記念撮影

・12:30 ~ 食事開始

※猛暑対策時間:休憩/室内セミナー/フィジカル講習

・15:00 ~ 午後オンコートプログラム開始

・18:30 解散



◆第21 回グラスホパー 2日目 スケジュール(仮)

- ・9:30 受付開始
- ・10:00 ～ コートメンテナンス見学
- ・10:10 ～ オンコートプログラム午前
- ・12:00 ～ 午前 オンコートプログラム終了
食事開始
※猛暑対策時間:休憩/室内セミナー/フィジカル講習
- ・15:00～ オンコートプログラム午後
保護者へコート開放(グラスコート体験)
- ・18:00 解散



◆第21 回グラスホパー 3日目 スケジュール(仮)

- ・9:30 受付開始
- ・10:10 ~ オンコートプログラム午前
- ・12:00 ~ 午前 オンコートプログラム終了
食事開始
※猛暑対策時間:休憩/室内セミナー/フィジカル講習
- ・15:00~ オンコートプログラム午後
保護者へコート開放(グラスコート体験)
- ・18:00 解散



◆第21 回グラスホパー 4日目 スケジュール(仮)

- ・9:30 受付開始
- ・10:00 ~ オンコートプログラム午前
- ・12:00 ~ 午前 オンコートプログラム終了
食事開始
※猛暑対策時間:休憩/室内セミナー/フィジカル講習
- ・15:00~ オンコートプログラム午後
- ・18:00 解散



◆第20回グラスホパー5日目 スケジュール(仮)

・9:30 受付開始

・10:00 ~ オンコートプログラム午前

・12:00 食事開始

※猛暑対策時間:休憩/室内セミナー/フィジカル講習

・14:30 ~ 閉会式

・15:00 ~ 解散



スタッフメッセージ ①



・神谷勝則 委員長

【日本テニス協会認定S級エリートコーチ】
【日本スポーツ協会公認 テニスコーチ4】
【日本スポーツ協会公認 上級教師】
【ヨネックス アドバイザリースタッフ】

これまで多くのジュニア選手と出会い、その延長でプロ選手らを指導する機会をいただきました。彼らと世界を転戦する中で、環境と文化、歴史と伝統、それを感じるからこそが成功への重要性であることを実感しました。それを感じる空間がここ「グラスコート佐賀・芝コート」にはあります。そんな特別な場所で、20年継続するキャンプがグラスホパーです。この夏も多くの夢に出会えることを楽しみにしております。

・小西一三 前委員長

20年前に広瀬均さん、小浦猛志さんと始めた大会を、今日まで多くの方々に支え続けて来られた事に感謝をします。トーナメント至上主義の中、成長期のこども達とテニスの原点であるグラスコートの上で技術的、精神的に育成を目指してきました。

グラスコートに立ち醍醐味を五感で感じてください。グラスホパーを経験したこども達がグラウンドスラムに挑戦し、参加した他の分野でも活躍してくれる事を祈っています。



・小浦猛志 スーパーバイザー

今年で20周年を迎える全国グラスホパーキャンプ。始まりは内閣府、文科省が助成した”スポーツ拠点づくり”。10年間の援助を受けゴールデンエイジ期のこども達に世界でも有数の天然芝コート14面を有する

”グラスコート佐賀テニスクラブ”で全国からこども達に将来を見すえアスリートになる為のテクニックを天然芝でしか経験することができないフットワーク、その他に競技者としての日常生活を1週間に渡り指導してきました。今回も、この20年で我々コーチ陣が学んだ事。

テニスの絶対基本を自信を持って指導にあたります。近年、より長身化とスピード化するテニス。

世界に対抗する為、ゴールデンエイジで習得すべきテクニックの全ては”より速く、より正確に、より強く”をテーマに選手やコーチの皆さんと、意義ある1週間を過ごしたいと思っております。沢山の選手の参加をお待ちします。



スタッフ メッセージ ②



・高木利郎 大会副委員長

【日本スポーツ協会公認コーチ4】
【日本テニス協会 ジュニア大会委員】

テニスの原点である、天然芝のコートを体験することにより、選手達は丁寧でしっかりとした技術を養うことができ、コーチの方々は選手の成長していく姿を目の当たりにすることができ、保護者の方々はテニスの歴史や選手との関わり方を学ぶ事ができます。まさに全方位から、テニスに対する考えを深める絶好の機会となっております。



・植田雄章 オンコートディレクター

【日本テニス協会認定S級エリートコーチ】
【日本スポーツ協会公認テニスコーチ4】
【中国テニス協会ジュニア委員長】

テニスの原点である天然芝コートの上で、テニスにおける絶対基本の大切さを伝えます。
そして、選手たちがこれから真っ直ぐに成長していけるよう、全力でお手伝いしていきます！



・渡辺孝昭 チーフコーチ

三重県の渡辺です グラスホパーに来て頂ける選手達は世界で戦いたい「夢」を持っていると思っております、それもプロでは誰もが手に入れたいウインブルドンのタイトルを！皆さんには準備するチャンスはあります！ 芝に慣れるのは大変でしょう…
丁寧なプレーは面倒くさい練習から生まれますよ。
私達コーチ陣は参加選手達の視点を見逃さずサポートします！

スタッフメッセージ ③



・大西竜彦 チーフコーチ

【日本テニス協会公認 S 級コーチ】
【日本スポーツ協会公認コーチ4】

『慣れない天然芝でのテニスに苦戦はしますが選手の(皆さんの)上達につながるようサポートしていきます。グラスホパー(グラスコート佐賀)で皆さんをお待ちしています。』



・山崎晃嗣 チーフコーチ

どこを目指し、何を手に入れ、
どんな未来を見据えるのか。
テニスの原点の芝！
そのグラスコートでの、気付き、インスピレーション、キッカケ、未来！
芝に足を踏み入れた選手達と、共有出来る時間を楽しみにしています！



・平安名 常心 トレーナー

本合宿では、全国のトップ選手が一同に集まって練習するだけが魅力ではありません。
各地域のコーチも集まり皆さんが少しでも【テニスが上手くなる。楽しくなる。】を考えてメニューを作ってくれています。私たちメディカルトレーナーでは、普段の身体のケアをやり方だけを説明するものではありません。
【強くなるため、怪我や故障をせずに長くテニスをするためのセルフケア】を指導させて頂いています。今年も楽しみにお待ちしております。

スタッフメッセージ ④



・国知出大地 コーチ

ホパーには10年間携わってきました。毎年「芝生が教えてくれる物」がたくさんあります。テニスの原点というサーフェス、綺麗な緑、生きたバウンド、足の裏の感触、朝の芝生の匂い。ゴールデンエイジ期の皆様の五感を、全身で刺激してもらえんと思います！是非ドキドキしながら芝生のコートを踏みに来てください。



・材木 力 コーチ

天然芝でのテニスはその日の環境で跳ね方や、球足が変化します。難しいコートだと思いますが、必ず皆さんの力になる要素が詰まってると思います。それだけではなく全国のたくさんの仲間、ライバルと出会えるチャンスです。私もコーチ兼カメラマンとして皆さんを全力でサポートします。この夏ここでしかできない体験をしてみませんか？



・緒方 公生 コーチ

グラスホパーでは、この期間の間、日ごろとは違ったコートでボールを追いかけて何を感じるか「工夫する心」が大事だと思います。11～12歳に専門的なトレーニングが必要な時期に入っています。また芝でのプレーには多くのテクニックが生まれます。それによって試合ごとに自然とスライス、ドロップショット、細かいフットワークの動きが見につきます。今だからこそしっかり「コーディネーション能力」を高め「表現力」を豊かにして「工夫する心」を大事にしてください。必ず良い状態もあれば思い通りにいかないこともあります。それでも「テニスの楽しさ」を存分に知って欲しいと思います。

スタッフメッセージ ⑤



・鳥越 類 コーチ

グラスコート佐賀テニスクラブのフロントでもある鳥越です。

テニスの原点である天然芝コートに、とにかくテニスの情熱が熱いコーチ陣。

今年も一緒に学びの多い夏を過ごしましょう！！



・緒方 貴之 ディレクター

20年前にテニスの聖地を目指して始まったこのプログラムは最初は大会でした。

20年の間に多くの日本を代表する選手が、この場所を通り過ぎ、今では試合だけでなく多くのものを学ぶ事ができるようなキャンプへと進化を遂げました。このプログラムに関わるコーチや講師陣も既存の価値観に捕らわれる事なく常に必要な事を模索し伝えてきています。

選手の皆さんだけでなくコーチや保護者の方々も、これを機会に是非、天然芝を体験してください。100年後も聖地はウインブルドンです！